廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(昭和四十六年政令第三百号) (抄)

(傍線の部分は改正部分)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令及び海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令案新旧対照

イ~へ (略) 三 一般廃棄物の埋立処分に当たつては、第一号イ及び口の規 で同じ。)の再生又は処分を行う場合には、厚生大臣が定 がる方法により行うこと。 「甲成十年法律第九十七号)第二条第五項に規定する特定 がるでは、原生大臣が定 がる方法により行うこと。 「平成十年法律第九十七号)第二条第五項に規定する特定	「 次 は 一 へ 運 廃	第三条 法第六条の二第二項の規定による一般廃棄物(特別管理(一般廃棄物の収集、運搬、処分等の基準) 改 正 案
イ~へ (略) 定の例によるほか、次によること。 三 一般廃棄物の埋立処分に当たつては、第一号イ及び口の規	イ~二 (略) 「一般廃棄物の処分(埋立処分及び海洋投入処分を除く。) 一 (略) 一 (略) 一 (略) 一 (略) 一 (略) 一 (略)	第三条 法第六条の二第二項の規定による一般廃棄物(特別管理(一般廃棄物の収集、運搬、処分等の基準)現

あらかじめ、前号ホの規定により再生し、又は処分するこト 特定家庭用機器一般廃棄物の埋立処分を行う場合には、

(

四 (略) (略)

(産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準)

したものを除く。以下この項(第三号イ及び第四号イを除く。掲げる廃棄物であるもの及び当該廃棄物を処分するために処理業廃棄物以外のものに限るものとし、法第二条第四項第二号に第六条 法第十二条第一項の規定による産業廃棄物(特別管理産

一 (略)

基準は、

次のとおりとする。

)において同じ。)の収集、

運搬及び処分 (再生を含む。)の

下この号において同じ。)又は再生に当たつては、次による一 産業廃棄物の処分(埋立処分及び海洋投入処分を除く。以

イ・ロ (略)

行う場合には、第三条第二号ホの規定の例によること。廃棄物をいう。次号カにおいて同じ。)の再生又は処分を第二条第五項に規定する特定家庭用機器廃棄物のうち産業八、特定家庭用機器産業廃棄物(特定家庭用機器再商品化法

ト・チ (略)

四 (略)

(産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準)

基準は、次のとおりとする。
)において同じ。)の収集、運搬及び処分(再生を含む。)のしたものを除く。以下この項(第三号イ及び第四号イを除く。場所る廃棄物であるもの及び当該廃棄物を処分するために処理業廃棄物以外のものに限るものとし、法第二条第四項第二号に第六条 法第十二条第一項の規定による産業廃棄物(特別管理産

(略)

こと。 下この号において同じ。) 又は再生に当たつては、次による下この号において同じ。) 又は再生に当たつては、次による一 産業廃棄物の処分 (埋立処分及び海洋投入処分を除く。以

イ・ロ (略)

2 (略)	四(略)四(略)のについては、適用しないこと。	ム ハからラまでに掲げる基準は、特別管理産業廃棄物であ		第三条第三号トの規定の例によること。	カー特定家庭用機器産業廃棄物の埋立処分を行う場合には、	イ~ワ (略)	ځ	口並びに第三号二及びホの規定の例によるほか、次によるこ	三 産業廃棄物の埋立処分に当たつては、第三条第一号イ及び
2 (略)	四 (略) 四 (略) るものについては、適用しないこと。	ら力までに掲	カーナ (略)			イーワ (略)	ے	口並びに第三号二及びホの規定の例によるほか、次によるこ	三 産業廃棄物の埋立処分に当たつては、第三条第一号イ及び

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令 (昭和四十六年政令第二百一号)
(抄)
(傍線の部分は改正部分)

にして排出すること。	状態にして排出すること。 いては、廃棄物処理令第三条第三号トの規定により処理した号に掲げる廃棄物であるものに限る。)を排出する場合にお特定家庭用機器産業廃棄物(廃棄物処理法第二条第四項第二般廃棄物又は廃棄物処理令第六条第一項第二号八に規定する飛廃棄物処理令第三条第二号ホに規定する特定家庭用機器一	一〜五 (略)	改正案
		「一一五 (略) 「一一五 (略) 「一一一五 (略) 「一一一五 (略) 「一一一五 (略) 「一一一五 (略) 「一一一五 (略) 「一一一五 (略) 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	現

九 (略)

に規定する基準に適合する状態にして排出すること。当該処理により生じた廃棄物を廃棄物処理令第三条第三号チは、廃棄物処理令第四条の二第二号口の規定により処理し、六号若しくは第七号に掲げる廃棄物を排出する場合において十一廃棄物処理令第一条第二号又は廃棄物処理令第二条の四第

+ 該処理 規定する基準に適合する状態にして排出すること。 る感染性一般廃棄物をいう。 する廃棄物であるものに限る。 物処理令第二条の四第四号に規定する感染性産業廃棄物 廃棄物処理令第四条の二第二号八の規定により処理し、 以下同じ。 感染性 により生じた廃棄物を廃棄物処理令第三条第三号リ 般廃棄物(廃棄物処理令第一条第三号に規定す) (廃棄物処理法第二条第四項第二号に規定) 又は感染性産業廃棄物)を排出する場合におい へ 廃 ては をい に 棄

九

七 (略)

に規定する基準に適合する状態にして排出すること。当該処理により生じた廃棄物を廃棄物処理令第三条第三号トは、廃棄物処理令第四条の二第二号口の規定により処理し、六号若しくは第七号に掲げる廃棄物を排出する場合において八 廃棄物処理令第一条第二号又は廃棄物処理令第二条の四第

定する基準に適合する状態にして排出すること。

「成理により生じた廃棄物を廃棄物処理令第三条第三号チーに規定等物処理令第四条の二第二号八の規定により処理し、当該の、以下同じ。)(廃棄物処理法第二条第四項第二号に規定する廃棄物であるものに限る。)を排出する場合においては、の理令第二条の四第四号に規定する感染性産業廃棄物(廃棄物感染性一般廃棄物(廃棄物処理令第一条第三号に規定する。

廃棄物 行わないで排出する場合には、 規定する基準に適合する状態にして排出すること。 令第六条の四第一項第二号トの規定により処理し、 廃石綿等をいう。 により生じた廃棄物を廃棄物処理令第六条第一項第三号ラに 排出すること。 廃石綿等(廃棄物処理令第二条の四第五号へに規定する 処理令第六条の四第一項第二号トの規定による処理)を排出する場合においては、 同項第三号ルの規定の例によ 廃棄物処 ただし、 当該処理 を 理

十四・十五 (略)

2 この項 に掲げ 埋 外周仕切 該埋立場所等に廃棄物及び海水が海洋(第一号から第三号まで 十条第二項第三号の政令で定める排出方法 立場所等以外の海域 次に掲げる廃棄物を埋立場所等に排出する場合における法第 に る廃棄物にあつては、 おいて同じ。 施設その他の施設が設けられ、) に流出し、 (第一号から第三号までに掲げる廃棄物 当該埋立場所等以外の場所。 又は浸出しないよう護岸、 当該埋立場所等が当該 に関する基準は、当 以下

一項第三号レに規定する基準に適合する状態にして排出する「可第三号レに規定する基準に適合する状態にして排出するは、廃棄物処理令第六条の四第一項第二号八の規定により処は、廃棄物処理令第六条の四第一項第二号八の規定により処定する廃棄物であるものを除く。)を排出する場合において一一感染性産業廃棄物(廃棄物処理法第二条第四項第二号に規

+ 1) 行わないで排出する場合には、 廃 規定する基準に適合する状態にして排出すること。 廃石綿等をいう。 により生じた廃棄物を廃棄物処理令第六条第一 令第六条の四第一項第二号トの規定により処理し、 排出すること。 !棄物処理令第六条の四第一項第二号トの規定による処理を 廃石綿等(廃棄物処理令第二条の四第五号へに規定する)を排出する場合においては、 同項第三号ルの規定の例によ 項第三号ナに 廃棄物処理 ただし、 T該処理

十二・十三 (略)

2

外周 この 埋 該埋立場所等に廃棄物及び海水が海洋 (第一号から第三号まで に掲げる廃棄物にあつては、 十条第二項第三号の政令で定める排出方法に関する基準は、 |立場所等以外の海域 次に掲げる廃棄物を埋立場所等に排出する場合における法第 頃に !仕切施設その他の施設が設けられ、 おいて同じ。) に流出し、 (第一号から第三号までに掲げる廃棄物 、当該埋立場所等以外の場所。 又は浸出し 当該埋立場所等が当該 ないよう護岸、 当

当該埋立場所等以外の海域としや断した上で排出することとす 適 水吐きから流出する海水でその水質が総理府令で定める基準に 廃 は浸出してはならない廃棄物には、 ಠ್ಠ 周仕切施設その 廃棄物及び海水が海洋に流出し、 同 にあつては、 (合しているものを含まない ?棄物を含み、 この場合において、 としや 当該埋立場所等以外の場所。 海水には、 他の施設を設けることにより当該埋立場所等を 断されている場合を除き、 当該埋立場所等から海洋に流出し、 当該埋立場所等に ものとする 又は浸出しないよう護岸、 当該埋立場所等にある他 当該埋· 以下この項にお 設けられている余 立 場所等か L١ 又 外 5 の て

|・二 (略)

第三号夕に規定する廃棄物ニーの発生物処理令第六条第一項第三号ヨ及び第六条の四第一項

四・五 (略)

3

下欄イ及び同表第三号下欄イ び 場所等に余水吐きが設けられてい 令で定める排出方法に関する基準は、 適用し 第三号の上欄に掲げる廃棄物についてはそれぞれ同表第一号 |立場所等に排出する場合における法第十条第二項第三号の それぞれ同表下欄に掲げるとおりとする。 項各号に掲げる廃棄物のうち次の表の上欄に掲げるもの ない ものとする に掲げる排出 ない場合には、 前項に定めるものの 方法に関する基準は ただし、当該埋 同表第一号及 ほ 立 政 か を

> ಠ್ಠ 同じ。 当該埋立場所等以外の海域としや断した上で排出することとす 周仕切施設その他 適合しているもの 水吐きから流出する海水でその水質が総理府 廃 は浸出してはならない廃棄物には、 廃棄物及び海水が海洋に流出し、 にあつては、 棄物を含み、 この場合において、 としや断されている場合を除き、 当該埋立場所等以外の場所。 海水には、 を含まない の施設を設けることにより当該埋立場所等 当該埋立場 当該埋立場 ものとする。 又は浸出し 当該埋立場所等にある他 所等から海洋に流出し、又 %所等に! 当該埋立場 以下この項に 令で定める基準に 設 ないよう護岸、 け られ 所等かり ている余 おい 外 を の て

·二 (略)

第三号夕に規定する廃棄物三の廃棄物処理令第六条第一項第三号カ及び第六条の四第

項

四・五 (略)

3

び第三号の上欄に掲げる廃棄物についてはそれぞれ同 場 令で定める排出方法に関する基準は、 埋 下 %所等に 欄イ及び同表第三号下欄 それぞれ同表下欄に掲げるとおりとする。 立場所等に排出する場合における法第十条第二項第三号の 適 前 用しない 頃各号に掲げる廃棄物のうち次の 余水吐きが設けられ ものとする。 1 ていない場合には、 に掲げる排出方法に関する基準は 表の上欄に 前項に定める ただし、 掲げる 同表第一号及 ŧ]表第一 当該埋 ののほ ものを 政 立 か

(略)		(略)	四
(略)		(略)	Ξ
(略)		(略)	_
こと。 こと。 こと。 こと。 こと。 こと。 こと。		(略)	_
排出方法に関する基準	物	廃	

-				
四	Ξ	_	_	
(略)	(略)	(略)	(略	廃
哈))	棄
				物
(鮥)	(略)	(略)	こと。 こと。 こと。 こと。 こと。 こと。 こと。	排出方法に関する基準